

令和5年第2回定例会（6/22～7/14）

概要

総額2,858億7,600万円余の令和5年度補正予算を可決

知事から道政執行方針の説明と、令和5年度補正予算などの議案26件が提案され、予算案8件、条例案12件、その他の案件3件を原案可決、人事案件3件を同意議決しました。報告のみの案件は7件でした。

また、議員や委員会から提出された意見案7件を原案のとおり可決しました。

主な審議日程

6月22日	本会議（開会）
6月27日～6月28日	本会議（代表質問）
6月30日～7月5日	本会議（一般質問）
7月5日～7月12日	予算特別委員会
7月13日	常任・特別委員会
7月14日	本会議（閉会）

本会議・予算特別委員会の主な議論



教育問題

教員の育成や確保、教育の無償化、教育環境の整備、人材の育成にどのように取り組むのか。



次世代半導体産業

次世代半導体産業の振興、集積促進、拠点整備にどのように取り組むのか。



ゼロカーボン

ゼロカーボン北海道の実現、再生可能エネルギーの促進、二酸化炭素排出削減にどのように取り組むのか。



主な議決の状況



知事提出案件

【予算案】8件 「令和5年度北海道一般会計補正予算（第2号）」など ⇒ 原案可決

【条例案】12件 「北海道地球温暖化防止対策基金条例案」など ⇒ 原案可決

【その他の案件】3件 「新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件」など ⇒ 原案可決

【人事案件】3件 「北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件」など ⇒ 同意議決

議員・委員会提出案件

【意見案】7件 「地方財政の充実・強化に関する意見書」など ⇒ 原案可決

定例会の詳細は、道議会Webサイトをご覧ください。

道議会キーワード

定例会においてのホットな話題をお伝えします。

「次世代半導体産業」



最先端・最高水準の半導体を北海道から世界へ

令和5年2月28日、Rapidus 株式会社が北海道千歳市に**次世代半導体工場**を建設することを表明しました。この次世代半導体は、量子やAIなどの分野で革新的な技術をもたらし、国内の半導体産業を活性化させる重要な中核技術です。この工場の建設により、地域振興や経済の発展が期待されます。

道では、国や地元千歳市との連携も進めながら、工場の整備が円滑に進められるよう取り組んでいます。

半導体は携帯電話や炊飯器、ゲーム機など様々な電子機器に使われ、**頭脳**の役割を果たしているよ。かつて日本は半導体のシェアで世界をリードしていたけど、**現在は輸入に頼っている**状態なんだ。そうした中でも、日本は国内の安定供給の整備に力を入れ、半導体産業の再興を目指しているよ。

2 nm（ナノメートル）の次世代半導体は**自動運転や人工知能**などのより高性能で効率的な電子機器を作るための新しい技術だよ。けれども、まだ世界中のどの企業も**量産化には成功していない**んだ。Rapidus 株式会社は、2025年のパイロットライン（※）の稼働、2027年の量産製造の開始を目指して取組を進めているよ。

※パイロットラインとは、新製品などを量産する前に、試験的に少数の生産を行うプロセスのことです。



作成：Rapidus 株式会社 作図協力：鹿島建設



道議会Q & A



Q 地方議会が制定する条例って何？

A 地方議会が制定する条例は、**地方公共団体が制定する法の形式**です。交通規制や地域振興に関する事項など、地域特有の課題に対応するために制定されます。議会において、出席議員の過半数の賛成が必要になります。